



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東 大名

上場会社名 南海電気鉄道株式会社

コード番号 9044 URL <http://www.nankai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 亘 信二

問合せ先責任者 (役職名) 経理室経理部長

(氏名) 田内 信彦

TEL 06-6644-7145

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	89,463	△2.8	10,555	△9.6	6,769	△10.7	3,606	—
23年3月期第2四半期	92,056	1.7	11,676	9.6	7,584	21.9	△126	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,252百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △642百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	6.90	—
23年3月期第2四半期	△0.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	793,777	128,085	15.9
23年3月期	799,455	128,467	15.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 125,905百万円 23年3月期 126,230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,900	3.6	17,700	△11.1	9,900	△13.7	5,300	73.5	10.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	526,412,232 株	23年3月期	526,412,232 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,636,469 株	23年3月期	3,610,966 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	522,790,218 株	23年3月期2Q	522,818,692 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しています。

・決算説明会につきましては、平成23年11月10日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。また、この説明会で配布する資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,800	14.4	13,800	12.6	5,800	△37.2	3,100	△54.3	5.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. (参考) 四半期個別財務諸表	11
(1) (参考) 四半期個別貸借対照表	11
(2) (参考) 四半期個別損益計算書	13
5. 四半期決算補足説明資料	14
(1) セグメント情報（連結）	14
(2) 金融収支（連結）	14
(3) 借入金及び社債残高（連結）	14
(4) 投資額（連結）	14
(5) 減価償却費（連結）	14
(6) 鉄道旅客収入及び輸送人員表（個別）	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復傾向にあるものの、電力供給問題の長期化に加え、急速な円高や燃料費・原材料費の高騰、海外経済の悪化が続くなど、景気は依然として予断を許さない状況のまま推移いたしました。

このような経済情勢の下におきまして、当社グループでは当連結会計年度を初年度とする新たな中期経営計画「凜進130計画」を策定し、各種施策への取組みに着手いたしました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、東日本大震災や相次ぐ台風上陸の影響等により、運輸業が減収となったほか、不動産業において分譲マンションの販売が減少したこともあり、前第2四半期連結累計期間に比べ25億93百万円(2.8%)減少の894億63百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ11億21百万円(9.6%)減少の105億55百万円、経常利益は前第2四半期連結累計期間に比べ8億15百万円(10.7%)減少の67億69百万円となりました。一方、四半期純損益は、前第2四半期連結累計期間には、工事負担金等の会計処理方法を変更したことによりタックスプランニングを見直した結果、将来課税所得の減少に伴う繰延税金資産の取崩しがあったことから、前第2四半期連結累計期間に比べ37億33百万円改善し、36億6百万円の四半期純利益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## &lt;運輸業&gt;

鉄道事業におきましては、沿線エリアの魅力発信と沿線外からの旅客誘致をはかるため、「関西1デイパス」や「京都アクセスきっぷ」、「関空アクセスきっぷ」等、他の鉄道事業者等とのコラボレーションによる各種企画乗車券の発売を積極的に推進するとともに、本年9月1日から11日まで、東京において今回で5回目となる「高野山カフェ」を開業いたしました。また、特急の利用促進をはかるため、9月1日に特急「サザン」新型車両12000系(愛称:サザン・プレミアム)の運行を開始いたしました。バス事業におきましては、旅客需要に適応した輸送体制の整備と事業の効率化を進める一方、路線バス「堺東・堺～南港(ATC)線」や深夜急行バス「中もず駅前～泉北ニュータウン線」、空港リムジンバス「関西空港～津山線」を新たに開設するとともに、河内長野市荘園町地区において、停留所以外でも自由に乗り降りできる「フリー乗降制度」を導入するなど、お客さまの利便性向上による増収に努めました。しかしながら、東日本大震災や台風上陸の影響もあり、運輸業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ9億42百万円(2.2%)減少の420億82百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ3億54百万円(6.3%)減少の52億75百万円となりました。

## &lt;不動産業&gt;

不動産賃貸業におきましては、パークスタワーをはじめ各物件において稼働率の維持向上に努めました。不動産販売業におきましては、南海くまどり・つばさが丘、南海林間田園都市・彩の台等で宅地及び戸建住宅の分譲を進めるとともに、分譲マンション「阿倍野松崎町レジデンス」、「デラッセ天王寺玉造」等の販売に注力いたしました。しかしながら、不動産販売業において分譲マンションの販売が減少したこともあり、不動産業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ8億89百万円(7.4%)減少の111億67百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ4億56百万円(11.8%)減少の34億10百万円となりました。

## &lt;流通業&gt;

ショッピングセンターの経営におきましては、本年4月26日、なんばCITYのリニューアル工事が完成し、ファッション店舗を中心に86店舗がオープンするとともに、開業から5年目を迎えたなんばパークス2期エリアにおいて、リニューアル計画に着手いたしました。また、なんばCITY、なんばパークス及び周辺商業施設が共同で各種イベントを実施するなど、なんばエリア全体の賑わい創出と集客に努めました。このほか、直営事業の拡大に向け、いずみおおつCITY内及びショップ南海天下茶屋内において、直営クリーニング店をオープンいたしました。物品販売業におきましては、新規店舗の開業やワゴン販売を強化するなど各種の増収策を講じたほか、昨年3月にオープンした「古道歩きの里ちかつゆ」において、イベントの開催や旅行代理店に対する宣伝・営業活動に注力するなど、お客さまの誘致に努めました。その他といたしましては、シニアビジネスへの本格参入をめざし、徳島県内において、関西私鉄グループでは初となる「高齢者専門宅配弁当事業」の営業を9月1日から開始いたしました。この結果、流通業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ2億59百万円(2.2%)増加の119億75百万円となりましたが、なんばCITYにおいてリニューアル関連費用を計上したこともあり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億46百万円(14.4%)減少の8億70百万円となりました。

なお、大阪市交通局が進める御堂筋線梅田・なんば・天王寺駅「駅ナカ」事業の運営管理予定者に、南海商事株式会社を代表事業者、東急不動産株式会社を共同事業者とする共同事業体が選定されました。

<レジャー・サービス業>

遊園事業におきましては、みさき公園において時季に適した催物や体験型イベントを開催するなど、ファミリー層を中心にお客さまの誘致に努めました。競艇施設賃貸業におきましては、住之江競艇場においてスタンドのデッキ工事を進めるなど、来場者の誘致に努めました。ビル管理メンテナンス業におきましては、民間事業者のほか、地方公共団体等からの新規管理物件の獲得に注力いたしました。その他といたしましては、葬祭事業におきまして、堺市美原区において8号店となる葬儀会館「ティア美原」をオープンするとともに、堺市中区及び大阪狭山市において9、10号店となる葬儀会館「ティア大野芝」、「ティア大阪狭山」の建設工事と開業準備を進めました。この結果、レジャー・サービス業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ6億29百万円(3.8%)増加の171億67百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ22百万円(5.6%)増加の4億13百万円となりました。

<建設業>

建設業におきましては、公共投資の削減や受注競争の激化等、厳しい事業環境下で推移いたしました。この結果、営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ8億89百万円(4.5%)減少の189億51百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億42百万円(20.9%)減少の5億39百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ2億27百万円(29.3%)減少の5億47百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ59百万円(74.2%)減少の20百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、連続立体交差化工事の進捗等による建設仮勘定の増加があったものの、減価償却の進捗や保有株式の株価下落による投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ56億77百万円減少の7,937億77百万円となりました。

負債の部では、借入金の返済や支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ52億95百万円減少の6,656億92百万円となりました。

純資産の部では、四半期純利益の計上による増加があったものの、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億81百万円減少の1,280億85百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末比で0.1ポイント増加し、15.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加等により、前第2四半期連結累計期間に比べ45億98百万円流入が減少し、119億13百万円の流入となりました。

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出が減少したこと等により、前第2四半期連結累計期間に比べ9億90百万円支出が減少し、71億12百万円の流出となりました。

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が減少したこと等により、前第2四半期連結累計期間に比べ16億18百万円支出が減少し、68億72百万円の流出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ20億72百万円減少し、154億89百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州金融不安や米国景気の減速懸念等、海外景気の下振れリスクが存在する中、第3四半期以降もわが国経済の先行き不透明感は強く、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況の下、通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績などを踏まえ前回発表時（平成23年4月28日）の予想数値を変更いたしました。

営業収益は、東日本大震災や紀伊半島に大きな被害をもたらした台風12号の影響を織り込んだことや事業計画の一部を見直したこともあり、前回予想より30億円(1.5%)の減収、営業利益については11億円(5.9%)、経常利益については12億円(10.8%)、当期純利益については8億円(13.1%)の減益を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 平成24年3月期の連結業績予想数値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	195,900	18,800	11,100	6,100
今回発表予想 (B)	192,900	17,700	9,900	5,300
増減額 (B-A)	△3,000	△1,100	△1,200	△800
増減率 (%)	△1.5	△5.9	△10.8	△13.1
(ご参考)				
前期実績(平成23年3月期)	186,164	19,900	11,466	3,054

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,539	16,372
受取手形及び売掛金	16,709	17,628
商品及び製品	28,224	29,668
仕掛品	2,462	480
原材料及び貯蔵品	2,145	2,279
その他	13,589	10,709
貸倒引当金	△109	△113
流動資産合計	81,562	77,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	340,866	335,403
土地	296,807	299,058
建設仮勘定	28,060	32,472
その他（純額）	19,980	19,885
有形固定資産合計	685,715	686,819
無形固定資産	2,443	2,642
投資その他の資産		
投資有価証券	17,629	15,663
その他	15,295	14,979
貸倒引当金	△3,190	△3,351
投資その他の資産合計	29,734	27,291
固定資産合計	717,893	716,753
資産合計	799,455	793,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,415	15,378
短期借入金	118,669	128,570
1年以内償還社債	20,000	20,000
未払法人税等	622	1,087
賞与引当金	2,112	2,396
その他	46,108	49,409
流動負債合計	205,927	216,842
固定負債		
社債	75,000	75,000
長期借入金	279,953	265,968
退職給付引当金	14,156	13,973
建替関連損失引当金	1,106	1,106
負ののれん	431	305
その他	94,413	92,496
固定負債合計	465,060	448,849
負債合計	670,988	665,692
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,471	18,471
利益剰余金	24,058	25,059
自己株式	△1,289	△1,297
株主資本合計	104,979	105,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,228	△56
繰延ヘッジ損益	△22	△43
土地再評価差額金	20,044	20,034
その他の包括利益累計額合計	21,250	19,933
少数株主持分	2,237	2,179
純資産合計	128,467	128,085
負債純資産合計	799,455	793,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	92,056	89,463
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	77,543	76,333
販売費及び一般管理費	2,836	2,574
営業費合計	80,379	78,908
営業利益	11,676	10,555
営業外収益		
受取利息	21	24
受取配当金	252	277
負ののれん償却額	199	126
雑収入	383	312
営業外収益合計	856	739
営業外費用		
支払利息	4,676	4,283
雑支出	272	242
営業外費用合計	4,948	4,525
経常利益	7,584	6,769
特別利益		
工事負担金等受入額	2,308	2,036
その他	377	56
特別利益合計	2,685	2,093
特別損失		
工事負担金等圧縮額	1,485	1,757
固定資産除却損	408	818
投資有価証券評価損	797	134
環境対策費	922	—
その他	640	600
特別損失合計	4,254	3,310
税金等調整前四半期純利益	6,016	5,551
法人税、住民税及び事業税	537	1,038
法人税等調整額	5,587	909
法人税等合計	6,125	1,948
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△109	3,603
少数株主利益又は少数株主損失(△)	17	△2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126	3,606

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△109	3,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△519	△1,330
繰延ヘッジ損益	△13	△20
その他の包括利益合計	△533	△1,351
四半期包括利益	△642	2,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△648	2,300
少数株主に係る四半期包括利益	6	△47

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,016	5,551
減価償却費	11,055	11,002
工事負担金等圧縮額	1,485	1,757
支払利息	4,676	4,283
工事負担金等受入額	△2,308	△2,036
売上債権の増減額 (△は増加)	2,986	△223
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,542	△4,542
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,732	417
その他	2,443	△540
小計	22,543	15,668
利息及び配当金の受取額	277	306
利息の支払額	△4,673	△4,270
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,610	208
その他	△25	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,511	11,913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△18,854	△15,795
工事負担金等受入による収入	10,495	8,359
子会社株式の取得による支出	—	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	6	—
その他	249	324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,103	△7,112
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,060	△1,000
長期借入れによる収入	17,260	12,101
長期借入金の返済による支出	△22,010	△15,186
社債の発行による収入	9,939	19,895
社債の償還による支出	△10,000	△20,000
配当金の支払額	△2,595	△2,600
その他	△25	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,491	△6,872
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△82	△2,072
現金及び現金同等物の期首残高	17,979	17,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,896	15,489

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	42,164	11,493	11,507	12,344	14,422	124	92,056
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	860	563	209	4,193	5,418	650	11,895
計	43,024	12,056	11,716	16,537	19,841	774	103,952
セグメント利益	5,629	3,866	1,017	390	681	79	11,666

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,666
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業利益	11,676

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	41,457	10,754	11,756	12,396	13,015	82	89,463
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	624	413	219	4,770	5,936	465	12,428
計	42,082	11,167	11,975	17,167	18,951	547	101,892
セグメント利益	5,275	3,410	870	413	539	20	10,528

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,528
セグメント間取引消去	26
四半期連結損益計算書の営業利益	10,555

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. (参考) 四半期個別財務諸表

## (1) (参考) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	52,829	53,098
現金及び預金	10,346	8,392
販売土地及び建物	25,174	25,311
その他	17,349	19,602
貸倒引当金	△41	△208
固定資産	698,393	696,641
鉄道事業固定資産	298,498	295,071
付帯事業固定資産	314,403	314,407
各事業関連固定資産	1,014	2,271
建設仮勘定	27,442	30,762
投資その他の資産	57,034	54,128
関係会社株式	31,465	31,466
関係会社長期貸付金	9,375	7,559
その他	16,863	15,655
投資評価引当金	△105	△105
貸倒引当金	△563	△447
資産合計	751,223	749,739

(単位：百万円)

科 目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	181,271	194,851
短期借入金	101,514	114,707
1年以内償還社債	20,000	20,000
賞与引当金	939	1,089
その他	58,817	59,054
固定負債	448,242	433,357
社債	75,000	75,000
長期借入金	273,163	259,858
退職給付引当金	9,303	9,089
その他	90,775	89,409
負債合計	629,513	628,208
(純資産の部)		
株主資本	102,263	102,876
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,478	18,478
利益剰余金	21,336	21,957
自己株式	△1,289	△1,297
評価・換算差額等	19,445	18,654
その他有価証券評価差額金	137	△644
土地再評価差額金	19,308	19,298
純資産合計	121,709	121,531
負債純資産合計	751,223	749,739

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (参考) 四半期個別損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	当第2四半期累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
鉄道事業営業利益		
営業収益	28,061	27,320
営業費	23,345	22,618
営業利益	4,715	4,701
付帯事業営業利益		
営業収益	5,814	18,208
営業費	4,796	13,979
営業利益	1,018	4,228
全事業営業利益	5,734	8,930
営業外収益	5,803	891
受取利息	1,001	120
受取配当金	4,589	620
雑収入	213	149
営業外費用	4,477	4,315
支払利息	3,217	3,343
社債利息	929	793
雑支出	330	178
経常利益	7,060	5,506
特別利益	1,487	2,036
工事負担金等受入額	1,487	2,036
特別損失	2,416	3,047
工事負担金等圧縮額	1,485	1,757
固定資産除却損	—	818
賃貸借契約解約損	—	180
災害義援金	—	156
投資有価証券評価損	711	134
関係会社整理損	220	—
税引前四半期純利益	6,130	4,495
法人税、住民税及び事業税	△108	283
法人税等調整額	4,733	985
四半期純利益	1,506	3,226

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

平成23年10月31日  
南海電気鉄道株式会社

5. 四半期決算補足説明資料

(1) セグメント情報 (連結)

(実績)

	営業収益			セグメント利益(営業利益)		
	22年9月期 (実績)	23年9月期 (実績)	増減率	22年9月期 (実績)	23年9月期 (実績)	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運 輸 業	43,024	42,082	△2.2	5,629	5,275	△6.3
不 動 産 業	12,056	11,167	△7.4	3,866	3,410	△11.8
流 通 業	11,716	11,975	2.2	1,017	870	△14.4
レジャー・サービス業	16,537	17,167	3.8	390	413	5.6
建 設 業	19,841	18,951	△4.5	681	539	△20.9
そ の 他 の 事 業	774	547	△29.3	79	20	△74.2
計	103,952	101,892	△2.0	11,666	10,528	△9.8
調 整 額	△11,895	△12,428	—	10	26	—
四半期連結損益計算書計上額	92,056	89,463	△2.8	11,676	10,555	△9.6

(予想)

	営業収益			セグメント利益(営業利益)		
	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	増減率	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運 輸 業	85,088	83,800	△1.5	10,269	9,300	△9.4
不 動 産 業	25,336	25,900	2.2	6,459	5,200	△19.5
流 通 業	23,466	24,000	2.3	1,681	1,100	△34.6
レジャー・サービス業	33,659	38,700	15.0	209	900	330.4
建 設 業	41,157	43,100	4.7	1,225	1,000	△18.4
そ の 他 の 事 業	1,663	1,400	△15.8	180	100	△44.7
計	210,372	216,900	3.1	20,026	17,600	△12.1
調 整 額	△24,208	△24,000	—	△125	100	—
連結損益計算書計上額	186,164	192,900	3.6	19,900	17,700	△11.1

(2) 金融収支 (連結)

(単位:百万円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	比較増減	23年9月期 (実績)
受取利息及び配当金	472	400	△72	301
支払利息	9,124	8,600	△524	4,283
金融収支	△8,651	△8,200	451	△3,981

(3) 借入金及び社債残高 (連結)

(単位:百万円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	比較増減	23年9月期 (実績)
借入金及び社債残高	493,623	498,800	5,176	489,538

(4) 投資額 (連結)

(単位:百万円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	比較増減	23年9月期 (実績)
投資額	20,736	40,200	19,463	10,301

(5) 減価償却費 (連結)

(単位:百万円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	比較増減	23年9月期 (実績)
減価償却費	22,620	22,600	△20	11,002

平成23年10月31日  
南海電気鉄道株式会社

(6) 鉄道旅客収入及び輸送人員表 (個別)

(実績)

		22年9月期 (実績)	23年9月期 (実績)	比較増減率
旅客収入	定期外	百万円 14,938 (1,684)	百万円 14,542 (1,569)	% △2.6 (△6.9)
	定期	11,717 (574)	11,511 (550)	△1.8 (△4.3)
	合計	26,656 (2,259)	26,054 (2,119)	△2.3 (△6.2)
輸送人員	定期外	千人 43,772 (2,026)	千人 42,591 (1,868)	% △2.7 (△7.8)
	定期	71,891 (1,804)	71,080 (1,720)	△1.1 (△4.7)
	合計	115,663 (3,830)	113,671 (3,588)	△1.7 (△6.3)

(予想)

		23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	比較増減率
旅客収入	定期外	百万円 29,407 (3,257)	百万円 29,103 (3,161)	% △1.0 (△2.9)
	定期	22,922 (1,130)	22,689 (1,111)	△1.0 (△1.7)
	合計	52,329 (4,388)	51,792 (4,272)	△1.0 (△2.6)
輸送人員	定期外	千人 86,581 (3,912)	千人 85,645 (3,781)	% △1.1 (△3.3)
	定期	139,484 (3,545)	138,825 (3,478)	△0.5 (△1.9)
	合計	226,065 (7,457)	224,470 (7,259)	△0.7 (△2.7)

- 注 1. 輸送人員は千人未満を四捨五入で表示しております。  
 2. 旅客収入は荷物収入を除いております。  
 3. ( ) 内は、空港線の数値を内数で表示しております。